

## 9. 本体との通信接続

まずはH Pより ENIGMA FirePlus 操作ソフトをダウンロードしてP Cにインストールして下さい。  
以降の説明はP C（スマートフォン）に ENIGMA FirePlus 操作ソフトが、既にインストールされているものとして記されています。

### ENIGMA FirePlus と通信接続する流れ

ココではバイクに正しく ENIGMA FirePlus が取り付けられた状態であると言う事を前提に ENIGMA FirePlus と通信接続して燃料MAPやリミッターカットなどをする大まかな流れを説明します。

ENIGMA FirePlus Bluetooth（ブルートゥース）版は、無線でデータのやり取りを行いますので他人が悪戯でアクセス出来ないように、「アクセル全開でキーをON」を行った時のみ電波を発生して通信可能になる安全装置が付いています。

通常のキーONで始動した場合は電波を出さないの第三者がおお客様の ENIGMA FirePlus にアクセスする事は出来ません。（電波を発生する時だけバイクのF Iランプが点滅します）

また ENIGMA FirePlus 通信中は「一台のみ」にしか繋がらない為、お客様が通信している時も（例えばタコメーター機能などを使い走行中など）第三者の侵入はできません。

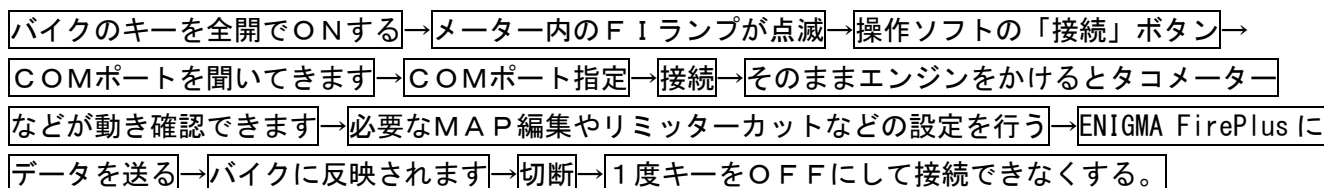
通常データの変更を行った場合、一度キーをOFFにして、アクセルをそのままONにすれば電波を出さなくなりセキュリティ的にも安心な構造です。

燃料MAPなどのデータはP Cやスマホ単体で、ENIGMA FirePlus と接続状態に無い時でも作成出来ます。それらをいくつでも保存しておけます。使用するバイクの条件に合わせて複数作っておくと便利です。

ENIGMA FirePlus と通信接続するには大まかに下記の流れになります。

詳しくは各説明が記されている項をごらん頂き、間違えの無いように正しく行って下さい。

### Bluetooth 通信接続の場合（アンドロイド／i OS）



※COMポートはBluetooth デバイスの設定の項に詳しく記されています。

※基本的にはスマートフォンも同様です。

※編集ソフトの画面に出ているデータを ENIGMA FirePlus に送るのが基本です。

保存しているデータは ENIGMA FirePlus 操作ソフトから読み出して画面に表示します。

データに問題がなければそのMAPデータを ENIGMA FirePlus に送ります。

また予めMAPをコピーしておき画面で一部を修正するなどして ENIGMA FirePlus に送れば少しずつ違ったセッティングが短時間で行えます。

加速ポンプのデータは独立して保存が出来ます。燃料MAPと色々な組み合わせが出来ます。